

N P O 法人 倉吉市河北地区スポーツクラブ

スポーツマスタープラン



N P O 法人 倉吉市河北地区スポーツクラブ

2 0 0 4 年 3 月

はじめに

NPO法人 倉吉市河北地区スポーツクラブは、平成14年に倉吉市立河北中学校校区の3地区（上北条、河北、西郷）のスポーツ少年団（野球部3チーム、バレー部1チーム）と同年に創設した中学生を対象として硬式野球（ボーイズ）チーム（倉吉ノースリバーズ）を構成団とし設立したクラブチームです。

今日、子どもたちを取り巻くスポーツ環境は大きく変化しています。骨格は発達しているものの、全体的な体力不足が言われています。家庭用のゲーム機の普及などにより、体を動かす機会の減少から、生活習慣病が子どもまで広がっています。また、スポーツ少年団などに見られるように、スポーツをする子としない子の二極化も進んでいます。

このマスタープランは、このような子どもたちの健全な育成、スポーツ及び文化の振興そして生涯教育・社会教育の推進を目指して、NPO法人 倉吉市河北地区スポーツクラブが、総合型地域スポーツクラブとして、活動していくための指針（使命）と目的、10年後（2014年）の姿、そしてそれに向けた具体的な活動（行動）を示すものであります。

また、このマスタープランは当初5年間、毎年見直しを行っていきます。

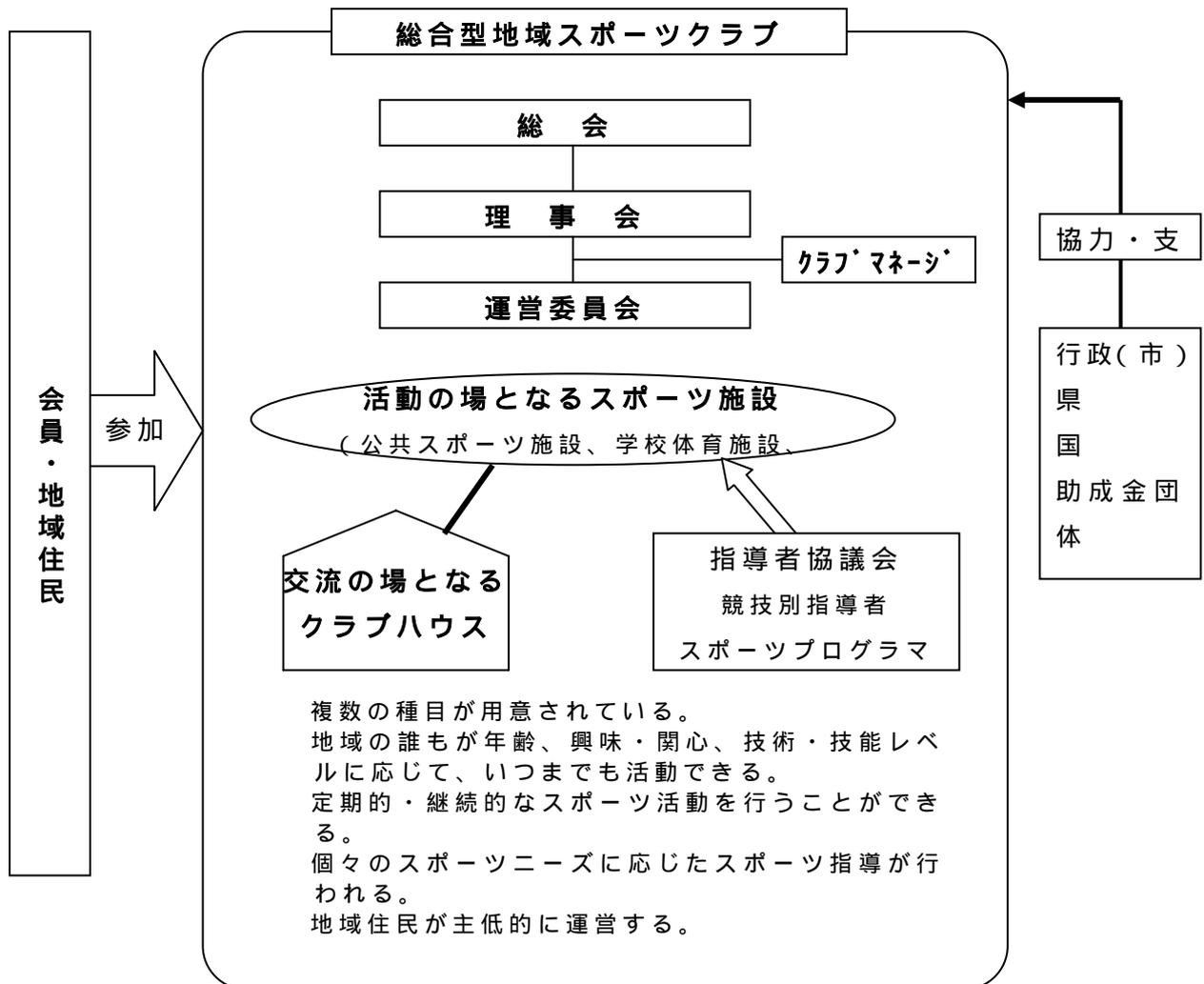
マスタープランの構成

基本理念	・・・・・・・・・・ 1 p
目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ	・・・・・・・・・・ 2 p
クラブの運営体制（機構図）	・・・・・・・・・・ 3 p
目 標	・・・・・・・・・・ 4 p
目標を達成するための施策と具体的事業	・・・・・・・・・・ 7 p

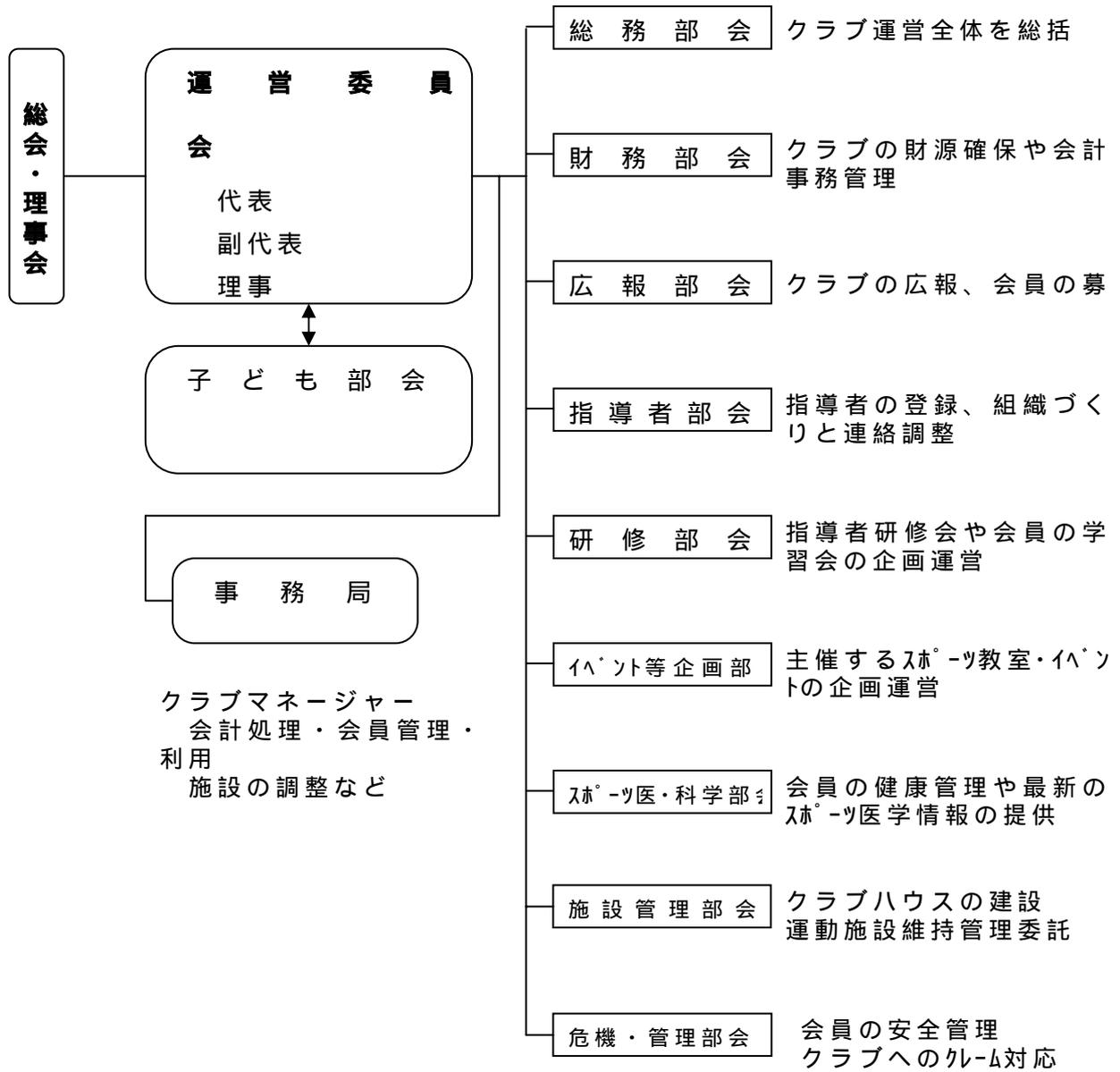
基本理念

NPO法人 倉吉市河北地区スポーツクラブは、NPO法人として、子どもたちの健全な育成、スポーツ及び文化の振興、社会教育の推進などを図る活動を行いながら、「スポーツ振興計画」で文部科学省が示す“総合型地域スポーツクラブ”の姿としての、1)複数の種目が用意されている。2)地域の誰もが年齢、興味、関心、技術・技能レベルなどに応じて、いつまでも活動できる。3)定期的・継続的なスポーツ活動を行うことができる。4)個々のスポーツニーズに応じたスポーツ指導が行われる。5)地域住民が主体的に運営する。クラブを目指し、地域の特色にあった、とりわけスポーツ少年団を核として、子どもたちの育ちを見守っていきます。

目指す総合型地域スポーツクラブのイメージ



クラブの運営体制（機構図）

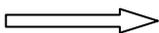


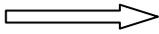
目 標 （ 7 つの柱と数値目標 ）

- 1 .子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行います。
- 2 .地域ニーズに添ったスポーツプログラム（プロダクト・商品）を提供していきます。
- 3 .スポーツによる健康づくりを目指したスポーツプロダクトを提供していきます。
- 4 .スポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。
- 5 .スポーツに関する地域の情報提供を積極的に行っていきます。
- 6 .スポーツ活動の基盤（活動拠点）の確保を行います。
- 7 .総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成を継続的行います。

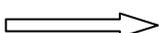
数 値 目 標

（ 10 年後の数値目標 ）

会 員 数 1 0 0 人  5 0 0 人（地区人口の 5 %）

競技種目 4 種目  1 0 種目

成人のスポーツ実施率（事業参加延べ人数）

1 0 %  3 0 %（事業参加延べ人数）

1 .子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行います。

家庭用ゲーム機などの普及で、体を動かす機会の減少により、運動不足による生活習慣病が、子どもにまで広がっています。

また、スポーツ少年団に見られるように、スポーツをする子としない子の二極化も進んでいます。

スポーツを行っている子どもたちに対するスポーツ指導に対し、学校段階ごとに指導者が異なる上、結果をもとめがちになるため、使いすぎによる障害やバーンアウトが生じている場合があります。

当クラブは、このような子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援を行っていきます。

2 .地域ニーズに添ったスポーツプログラム(プロダクト・商品)を提供していきます。

当クラブが活動エリアとして考える、倉吉市河北中学校校区(上北条、上井、西郷)の地域のスポーツ環境や実態を調査し、アンケート実施や地域の方との協議の場の設定などを行って、マーケティングリサーチなどに基づいた計画的戦略の立案など、地域ニーズに沿ったスポーツプログラム(プロダクト・商品)を提供していきます。

また、子どもたちの声を聞きながら、必要があれば地域を越えてのクラブ(サークル)などの設立に取り組みます。

3 .スポーツによる健康づくりを目指したスポーツプロダクトを提供していきます。

地域住民の生活習慣病予防、高齢者が健康で長生きできること、地域に住む成人が1週間に一度はスポーツが行えるスポーツ環境を整えることなどに努力し、スポーツによる健康づくりを目指したスポーツプロダクトを提供していきます。

また、高齢者、小さな子どもを抱える保護者(とりわけ育児期間のお母さん)、中学・高校でクラブ活動から卒業している期間の生徒などに目を向けながら、運動不足が生じている時期の人たちへのスポーツを提供していきます。

4 .スポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。

親子の交流、地域の交流、年代・地域を越えての交流、国際交流などスポーツを通じた交流の促進の場を提供していきます。

地域住民が自発的、主体的に運営できる活動や親子であるいは地域の人と一緒に継続的に活動できる場を提供していきます。

とりわけ、親子・高齢者と子どもたちの交流には、だれでもが行えるスポーツなどを提供していきながら、また高齢者が子どもたちを指導していける機会などを創出して、地域が昔もっていた力を蘇らせます。

また、スポーツを楽しんだ後は、交流の場となるクラブハウス等の確保に努めます。

5 . スポーツに関する地域の情報提供を積極的に行っていきます。

これまでは、スポーツ施設、実施種目、指導者などに関する情報の提供が一方的であったり、不足していました。

これからは、行政や各種スポーツ団体、そして当クラブが行うスポーツ大会・各種教室など、地区において実施されるスポーツ活動の情報を収集し、会員及び地区住民に提供していくとともに、スポーツプロダクトをもらう側(参加者)のほしい情報が取り出せるシステムづくりを行っていきます。

地域にあるスポーツ施設(小・中・高校、短期大学、県立体育館、公園等)の使用状況や利用の可能性について調査し、情報提供していきます。

6 . スポーツ活動の基盤(活動拠点)の確保を行います。

当クラブの活動拠点となるクラブハウス建設・保有にむけて取り組みます。

また、当クラブ構成団の活動の場となる地区の運動施設・スポーツ施設の確保に努めます。とりわけ、学校開放の小学校・中学校・高校の学校施設や地区にある「鳥取短期大学」の施設や地区内の公園など、スポーツが行える施設について、管理者等との協議を行い使用できるように協議していきます。

施設管理者(行政等)からスポーツ施設の管理運営が受託できるよう、行政などへ働きかけます。

7 .総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成を継続的に行います。

総合型地域スポーツクラブとしての体力をつけるため、組織体制の強化とクラブマネージャーの配置を行います。

また、クラブ内のチームにおいてどのような指導者が不足しているのか、また、チームの中から指導者として活躍してくれる人がいないかなどを調査し、それらの人に指導者資格の取得に関する研修会や講習会への参加を積極的に行いスポーツ指導者の確保に努めます。

目標を達成するための施策と具体的事業

1．子どもたちの健全な育成と個性を伸ばすスポーツ活動の支援

各種構成団の支援

スポーツ教室の開催（野球、バレーボール、ソフトボール、ニュースポーツなど）

スポーツ講演会の開催

各種交流大会の開催

行政からのスポーツ教室・スポーツ講演会等の受託

2．地域ニーズに添ったスポーツプログラム（プロダクト・商品）の提供

指導者の育成・派遣

スポーツプログラマーの育成・派遣

新規クラブの創設支援（小学女子ソフトボールクラブ）

アンケート、ニーズ調査の実施

各種スポーツの指導者養成講習会等への積極的な参加を行い、指導者育成に努めます。

3．スポーツによる健康づくりを目指したスポーツプロダクトの提供

スポーツプログラマーの配置（育成）

スポーツドクターの配置（人材発掘）

ニュースポーツ教室、体力測定の実施

会員の定期的な健康診断・健康相談（スポーツドクター）

4．スポーツを通じた交流の促進の場の提供

親子の交流（イベント開催）

会員同士の交流合宿の開催

年代・地域を越えた交流イベントの開催

国際交流（倉吉市が姉妹都市提携を行っている韓国・羅州市とのスポーツ交流）

5．スポーツに関する地域の情報提供

地域における体育施設を把握し、使用状況・借用方法などの情報提供
学校開放、公園施設利用などを施設管理者と積極的に協議し、その情報提供

定期的な会報の発行、ホームページの更新

マスメディアへの積極的な情報提供とPR

6 . スポーツ活動の基盤（活動拠点）の確保

小学校・中学校・高校の学校開放の利用による活動場所の確保
鳥取短期大学に対し施設利用について協議
地域内にある運動可能施設（河川敷、公園など）の調査
行政からの体育・運動施設の管理委託の受託

7 . 総合型地域スポーツクラブの組織体制の強化と人材育成

クラブマネージャーの育成と配置（後継者育成）
運営委員会の定期的な開催
各種専門部会の開催
危機管理計画の立案と実行
スポーツドクターの配置
会員情報のデータベース化と会員への定期的な情報提供（会報、ホームページ）
指導者育成のための研修会や講習会の開催や参加

あとがき

このスポーツマスタープランは、当初5年間は毎年見直しを行います。